

令和 6 年度版『小学社会 3』年間指導計画・評価計画（案）

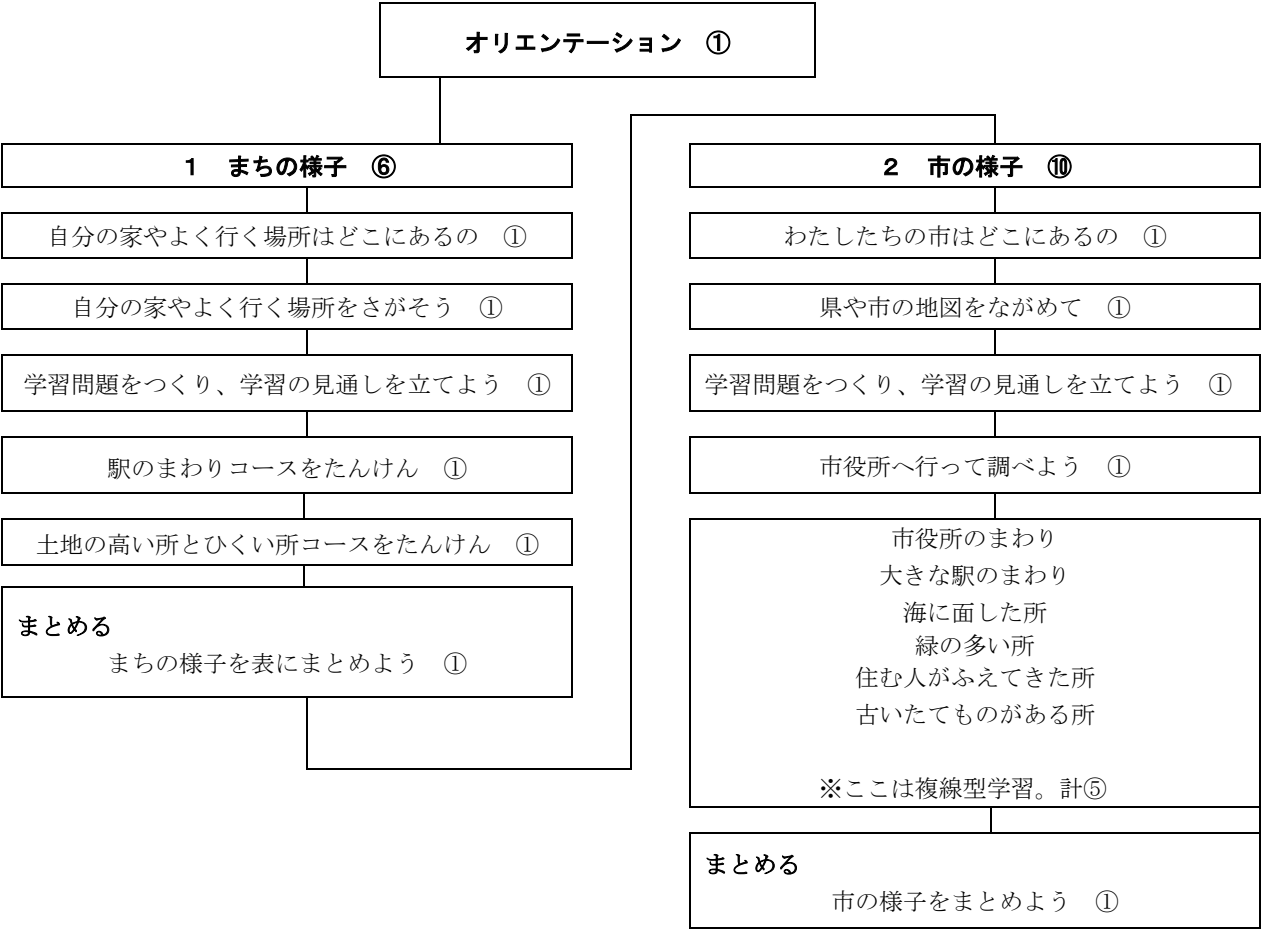
大単元 1	わたしたちのまちと市	配当時間 17 時間	教科書 3 P8～43
-------	------------	------------	----------------

目 標

- 身近な地域や市区町村の地理的環境について人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
 - 身近な地域や市区町村の地理的環境の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 身近な地域や市区町村の地理的環境について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な地域や自分たちの市の様子をおおまかに理解している。 ・観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。	・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。	・身近な地域や自分たちの市の様子について、主体的に問題解決しようとしている。



○の中の数字は、配當時数。

小単元 1	まちの様子	配当時間 6 時間	教科書 3 P10～21
-------	-------	-----------	-----------------

目 標

- 身近な地域の様子をおおまかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 身近な地域の場所による違い、人々の生活の関連などを考え、考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために、身近な地域について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・学校の周りや駅の周り、土地の高い所と低い所について、学校の屋上から観察したり、まち探検をしたりして調べ、必要な情報を集め、読み取り、身近な地域の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や絵地図にまとめ、身近な地域の様子を理解している。	・学校の周りや駅の周り、土地の高い所と低い所に着目して、問いを見だし、身近な地域の様子について考え表現している。 ・学校の周りや駅の周り、土地の高い所と低い所を比較したり、わかったことを総合したりするなどして場所の違いを考え表現している。	・身近な地域について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名： 1 わたしたちのまちと市【配当 17 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P8～9 【配時 1】	自分たちが暮らすまちの様子や土地の使い方などについて、教科書のイラストを見て話し合うことを通して社会科の学習への興味や関心をもつ。	○イラストから、地形の様子や特色ある場所の様子を読み取りながら、まちの特色について話し合う。 ◆自分たちが住むまちは、場所によって地形や土地利用などが違うことや、さまざまな公共施設があること。	①イラストを使って、「場所探レクイズ」を行う。 ②イラストに描かれている場所や人々の様子を確かめる。 ③イラストと身近なまちの様子を比べ、共通点や違いについて話し合う。 ④イラストに描かれているまちの様子をまとめる。	【思判表】イラストに描かれたまちや人々の様子について読み取り、発表している。(発)(ノ)

小単元名： 1 まちの様子【配当 6 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
自分の家やよく行く場所はどこにあるの P10～11 【配時 1】	自分の家やよく行く場所について友だちと紹介し合うことを通して、自分たちが暮らすまちに関心をもつ。	○生活科で学習したことをふり返りながら、自分の家やよく行く場所を紹介し合う。 ◆自分たちが住むまちには、まだ自分が知らない場所があり、調べてみたいと思うこと。	①自分の家の場所について紹介する。 ②遊びなどでよく行く場所について紹介する。 ③それぞれ紹介された場所について、知らない所や行ってみたい所を話し合う。	【態】自分の家やよく行く場所について、他者にわかるように紹介している。(発)(行)
自分の家やよく行く場所をさがそう P12～13 【配時 1】	学校の屋上から自分の家やよく行く場所を探したり、それらの場所について方位を使って表したりすることを通して、自分たちが暮らすまちの様子を調べる。	○学校の屋上や高い所から、自分たちが住むまちの様子を観察する。 ◆さまざまな場所について、四方位(東西南北)を使って表すことができる。学校の屋上から眺めるだけでは十分でないことから、探検の必要性に気づくこと。	①学校の屋上に上って自分の家などを探すときに、気をつけることを話し合う。 ②学校の屋上に上り、まちの様子を観察する。 ③東西南北の方位ごとに、まちの様子を観察する。 ④前時に紹介された場所について、方位ごとに探して確かめる。	【知技】紹介された場所や気づいた場所について、方位を使って示している。(発)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P14～15 【配時 1】	探検して調べてみたいことをもとに学習問題をつくり、学習問題について予想する。また、調べることや調べ方を話し合い、学習の見通しを立てる。	○学習問題をつくり、まちを探検する学習計画を考える。 ◆まちについて調べたいことをもとに学習問題をつくり、それについて予想し、学習計画を考えること。	①みんなで探検して調べたい場所について話し合い、学習問題をつくる。 ②学習問題について予想し、探検するコースを決める。 ③調べることと調べ方を決めて、学習の見通しを立てる。 ④探検に持っていくものや約束を話し合う。	【思判表】まちの様子について調べたいことをもとに、学習問題を考え、表現している。(発) 【態】まちの様子を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(行)(ノ)
学習問題 わたしたちのまちは、どのような様子なのだろう。				

駅のまわりコースをたんけん P16～17 【配時 1】	駅の周りコースを探索して、駅の周りの様子について捉える。	○駅の周りを探索して調べ、その特色を絵地図に表す。 ◆ 駅の周りを探索する。駅の周りには、多くの人が利用する区役所や消防署などの公共施設、商店が集まっていること。	①駅の周りを探索する。 ②探索して気づいたことを、自分の白地図に書き入れる。 ③探索して気づいたことを話し合い、絵地図にまとめる。	【知技】 駅の周り（学校の北西）を探索し、調べたことを絵地図に表している。（行）（ノ）
土地の高い所とひくい所コースをたんけん P18～19 【配時 1】	土地の高い所と低い所コースを探索して、土地の高い所と低い所の様子について捉える。	○土地の高い所と低い所を探索して調べ、その特色を絵地図に表す。 ◆ 土地が高い所と低い所を探索する。土地の高い所には住宅が集まっていることや、土地の低い所には工場や倉庫、大きな道路があること。	①土地の高い所、低い所を探索する。 ②探索して気づいたことを、自分の白地図に書き入れる。 ③探索して気づいたことを話し合い、絵地図にまとめる。	【知技】 土地の高い所と低い所（学校の南東）を探索し、調べたことを絵地図に表している。（行）（ノ）
〈まとめる〉まちの様子を表にまとめよう P20～21 【配時 1】	学校の周りの様子について、わかったことを表にまとめる活動を通して、場所によって違いがあることを表現する。また、学習したことや学び方をふり返る。	○絵地図をつなげて学校の周りの様子を捉えたり、空中写真と比べたりして、コースによる様子の違いを表にまとめる。 ◆ まちの様子は、場所によって違いがあること。	①二つのコースの絵地図をつなげて、学習問題の帰結について話し合う。 ②絵地図とまちの空中写真を比べて、どこに何があるかを確かめる。 ③探索したコースの様子の違いを表にまとめる。	【思判表】 自分たちの学校の周りの特色について話し合い、場所によって違いがあることを表現している。（発）（ノ） 【態】 学習したことや学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。（発）（ノ）

小単元 2	市の様子	配当時間 10 時間	教科書 3 P22～43
-------	------	------------	-----------------

目 標

- 身近な市の様子をおおまかに理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 身近な市の場所による違い、人々の生活の関連などを考え、考えたことを表現する力を養う。
- 身近な市について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情を養う。

評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ・調べたことを白地図やポスター、文などにまとめ、自分たちの市の様子を理解している。	・都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、問いを見だし、市の様子について考え表現している。 ・市内の特色あるいくつかの場所の様子を調べ、比較したり、わかったことを総合したりするなどして場所の違いを考え表現している。	・自分たちの住んでいる市について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 市の様子【配当 10 時間】

※「市役所のまわり」～「古いたてものがある所」は、複線型学習。

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
わたしたちの市はどこにあるの P22～23 【配時 1】	わたしたちの市の様子について、市の空中写真を見て、自分たちが暮らすまちの様子との違いを話し合うことを通して市全体の様子に関心をもつ。	○市の空中写真を見て、市全体の様子や、自分たちのまちと比べて気づいたことについて話し合う。 ◆市内には、自分たちの住むまちとは、様子の異なる地域があること。	①市の空中写真を観察して、気づいたことを話し合う。 ②市内で行ったことのある場所や知っている建物などを発表する。 ③自分たちの住むまちの様子と比べて、その違いをまとめる。	【思判表】市の様子について、身近な地域との違いを考え、表現している。(発)(ノ)
県や市の地図をながめて P24～23 【配時 1】	わたしたちの住む市の位置について、県内の知っている場所や行ったことがある場所を話し合ったり、地図を見て市の広がりや市全体の形について白地図を使って確かめたりする。	○市全体の地図を見て市域の輪郭を描き写すとともに、県内における市の位置について八方位を使って言い表す。 ◆県内における自分たちの市の位置や、隣接する市などの位置関係。	①県内の市町村の地図を見て、自分たちの市の位置を調べる。 ②自分たちの市の他に、主な市町村の名称と位置について、方位を使って話し合う。 ③白地図を見たり、市の全体の形を写したりして、市の広さやおおまかな形状を確かめる。	【知技】県内における市の位置や隣接する市などとの位置関係を理解し、八方位を使って表現している。(発)(ノ)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P26～27 【配時 1】	市内の特色ある場所の写真を見て話し合ったことをもとに学習問題を立て、学習問題について予想する。また、予想を確かめるために調べることや調べ方を話し合い、これからの学習に見通しをもつ。	○市の特色ある場所の写真を見ながら、学習問題をつくり、市の様子を調べる学習計画を立てる。 ◆市について調べたいことをもとに学習問題をつくり、それについて予想し、学習計画を考えること。	①市の特色ある場所の写真を見て、気づいたことを話し合う。 ②市のさまざまな場所の写真を見て話し合ったことから、学習問題をつくり、予想を立てる。 ③予想を確かめるために調べることと調べ方を決めて、学習の見通しを立てる。	【思判表】市の特色ある場所の写真を見て話し合ったことをもとに学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】市の様子を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
学習問題 市の様子は、場所によって、どのようにちがうのだろう。				
市役所へ行って調べよう P28～29 【配時 1】	市内の場所による違いについて、市役所の人に話を聞いたり、空中写真や土地利用図を見たりして市全体の土地の使われ方を捉える。	○市役所を訪ねて、市内の土地利用について調べる。 ◆市の土地利用は、場所によって違いがあること。	①市役所で市内の場所の違いについて話を聞く。 ②市の土地利用図をもとに、土地の使われ方について調べる。 ③それぞれの場所について、詳しく調べていくために見通しをもつ。	【知技】市の土地利用図を読み取り、それらの広がりについて、ノートにまとめている。(ノ)
市役所のまわり P30～31 【配時 (5) 複線】	市役所の周りの様子について、実際に歩いたり、写真や地図と比べたりして調べ、公共施設や高いビルがたくさん集まっていることを捉える。	○市役所周辺の空中写真や地図を読み取り、市役所周辺の建物や土地利用について調べる。 ◆市役所の周りには多くの公共施設があること。	①市役所の周りを探検したり、空中写真を観察したりする。 ②空中写真と地図を比べたり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所の周りの様子を調べる。 ③市役所の周りの様子と身近なまちの様子を比べる。	【知技】市役所の周りには公共施設が多く見られることを、ノートにまとめている。(ノ)

大きな駅のまわり P32～33 【配時 (5) 複線】	大きな駅の周りの様子について、写真や市内の交通がわかる地図を見ながら、大きな駅を中心に鉄道や道路が広がっていることを捉える。	○横浜駅周辺の空中写真や、市内の交通網の広がりが見える地図を調べ、主な鉄道や道路の名称を調べる。 ◆市内の主な交通網の広がり。	①横浜駅周辺の空中写真を見て、身近なまちの様子との違いを話し合う。 ②市内の交通網の地図を見て、その広がりを捉える。 ③横浜駅と中山駅の利用者数を比べて、まちの様子の違いを考える。	【知技】大きな駅の周りの様子をもとに、市内の交通の広がりについて、ノートにまとめている。(ノ)
海に面した所 P34～35 【配時 (5) 複線】	海に面した所の様子について、写真や土地の高さがわかる地図を見て、海に面している所の特徴や土地の高さの様子を捉える。	○海に面した場所の空中写真や地図を読み取り、その場所の特色や市内の地勢の広がりについて調べる。 ◆臨海部には埋め立て地がつけられ、工場用地などとして使われていること。	①海に面した所の空中写真を見て、身近なまちの様子との違いを話し合う。 ②海に面した所の地図を見て、土地利用の特徴を調べる。 ③市の土地の高さを表した地図を見て、土地の高さの様子を調べる。	【知技】海に面した場所の様子をもとに、市内の地形の広がりについて、ノートにまとめている。(ノ)
緑の多い所 P36～37 【配時 (5) 複線】	緑の多い所の様子について、市役所の人に話を聞いたり、写真や地図を見て、緑の多い所を白地図に書きながら、その分布や利用について捉える。	○緑の多い所の空中写真や地図を読み取り、その場所の特色や市内の主な緑地の広がりについて調べる。 ◆市内の緑地分布や、公園などに利用されていること。	①緑の多い所の空中写真を見たり、地図と比べたりして、身近なまちの様子との違いを話し合う。 ②緑の多い所について、地図や市役所の人の話をもとに調べる。 ③市の白地図に主な緑地を書き入れて、その分布を捉える。 ④緑の多い所は、どのように利用されているのかを調べる。	【知技】緑の多い場所の様子をもとに、市内の緑地の分布について、ノートにまとめている。(ノ)
住む人がふえてきた所 P38～39 【配時 (5) 複線】	住む人が増えてきた所の様子について、住んでいる人の話を聞いたり、写真や地図で土地の使われ方を調べたりして、広い住宅地があることを捉える。	○住む人が増えてきた場所の空中写真や地図を読み取り、その場所の特色について調べる。 ◆人口が増加してきた地域は、住宅地として開発されたこと。	①住む人が増えてきた所の様子を、空中写真と地図を比べて調べる。 ②港北ニュータウンに住んでいる人に話を聞き、住む人が増えてきた理由を調べる。 ③港北ニュータウンの土地利用について地図などで調べる。	【知技】人口増加が見られる場所の様子をもとに、住宅地として開発されたことを、ノートにまとめている。(ノ)
古いたてものがある所 P40～41 【配時 (5) 複線】	古い建物がある所の様子について、古くから残る建物やまち並みを見たり、観光マップで調べたりして、市内における分布や場所の特徴について捉える。	○市内に残る古い建造物やまち並みを見学して、それらの位置や広がり、由来について調べる。 ◆市内には古くから残る建造物やまち並みが分布していること。	①市内に古くから残る建物やまち並みについて、観光マップなどを見て調べる。 ②古くから残る建物やまち並みの位置や分布について調べる。 ③それらの場所の特徴について、市役所の人に話を聞いたり資料を使ったりして調べる。	【知技】古くから残る建物やまち並みをもとに、それらの位置や分布について、ノートにまとめている。(ノ)
〈まとめる〉市の様子をまとめよう P42～43 【配時 1】	市の様子は、場所によって違いがあることをポスターにまとめ、市の特色を短い文章で表現する。また、学習したことやと学び方をふり返る。	○これまで調べたことを地図にまとめ、それをもとに市を紹介するポスターをつくり、発表する。 ◆市の地形や交通、土地利用などの様子を捉え、場所によって違いがあること。	①市内の写真を見てこれまでの学習をふり返り、学習問題の帰結について話し合う。 ②これまで調べてきた場所について、白地図にまとめる。 ③まとめた白地図に市を紹介する文章を書き入れる。 ④学習したことや学び方をふり返る。	【思判表】市の様子について話し合い、場所によって違いがあることを表現している。(発) (ノ) 【態】これまでの学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発) (ノ)

大単元 2	はたらく人とわたしたちの暮らし	配当時間 19 時間	教科書 3 P46～93
-------	-----------------	------------	-----------------

目 標

- 地域の消費生活と産業の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地域の消費生活と産業の様子の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 地域の消費生活と産業の様子について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。 ・生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもっていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめている。	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現している。 ・仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現している。	・地域に見られる販売や生産の仕事について、主体的に問題解決しようとしている。

オリエンテーション ①

※「工場」または「農家」のいずれかを選択する。

1 店ではたらく人と仕事 ⑩

買い物はどこで ①

買い物調べでわかったこと ①

レシートからわかること ①

学習の見通しを立てよう ①

スーパーマーケットの様子を
調べよう ②

店ではたらく人の様子 ①

商品はどこから ①

買い物で気をつけていることと
店のくふう ①

まとめる

店のくふうをまとめよう ①

2 工場ではたらく人と仕事 ⑧

まちで人気のしゅうまい ①

学習問題をつくり、
学習の見通しを立てよう ①

工場をたずねて ②

はたらく人が気をつけていること ①

工場ではたらく人たち ①

製品はどこへ、原料はどこから ①

まとめる

地いきとともに歩むものづくり ①

2 農家の仕事 ⑧

地いきでつくられる野菜 ①

学習問題をつくり、
学習の見通しを立てよう ①

加藤さんの畑をたずねて ②

こまつなづくりのくふう ②

こまつなはどこへ ①

まとめる

地いきとつながる野菜づくり ①

○の中の数字は、配當時数。

小単元 1	店ではたらく人と仕事	配当時間 10 時間	教科書 3 P48～65
-------	------------	------------	-----------------

目 標

- 地域に見られる販売の仕事の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 販売に見られる仕事の工夫や特色、意味を考える力や、考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために、地域に見られる販売の仕事の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の様子を理解している。 ・調べたことを白地図や関係図などにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、問いを見いだし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・消費者の願いと販売の仕方を比較・関連づけたり、わかったことを総合するなどして販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名： 2 はたらく人とわたしたちの暮らし 【配当 19 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P46～47 【配時 1】	まち探検で見つけた働く人に関心を持ち、学習の見通しをもつ。	○まち探検や市の様子調べの活動をふり返し、地域には販売や生産の仕事があり、それらの仕事はわたしたちの生活とどのような関わりがあるのか関心を持ち、学習の見通しをもつ。 ◆まちには、販売や生産の仕事に携わる人たちがいること。	①まち探検の学習をふり返し、どのような仕事をして働く人がいたか発表する。 ②あげられた仕事を、販売や生産に関わるもの、公共サービスに関わるものに分類する。 ③それぞれの仕事と自分たちの生活との関わりについて、話し合う。	【思判表】教科書の写真から、それぞれどのような仕事で働く人なのかを考え、表現している。(発)

小単元名： 1 店ではたらく人と仕事 【配当 10 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
買い物はどこで P48～49 【配時 1】	家の人の買い物に関心を持ち、行った店や買った品物などを調べて、カードにまとめる計画を立てる。	○家の人がどんな店で買い物をしているのか発表し、買い物調べの計画を立てる。 ◆家の人がさまざまな店で買い物をしたり、さまざまな商品を買ったりしていること。	①買い物の経験を発表する。 ②家の人がよく行く店、よく買う品物を発表する。 ③家の人の買い物について調べる計画を立てる。	【思判表】家の人が買い物に行く店や買う商品について調べて、カードにまとめる計画を立てている。(発)
買い物調べてわかったこと P50～51 【配時 1】	買い物調べカードを集計し、店の位置や行った人数に着目して、店の分布や多くの人が行った店を捉え、その意味を表現する。	○買い物調べの成果を発表し、店のある場所や行った人の人数を、地図や表・グラフにまとめ、気づいたことを話し合う。 ◆人が多く通る場所に店が多かったり、多くの人がスーパーマーケットに買い物に行ったりしていること。	①買い物調べてわかったことを発表する。 ②調べた店の分布を買い物地図にまとめ、気づいたことを発表する。 ③クラス全体で、家の人がよく行く店の数を表やグラフにまとめ、気づいたことを発表し合う。	【思判表】買い物調べカードの集計をもとに、分布図やグラフに表し、その意味を表現している。(発)
レシートからわかること P52～53 【配時 1】	レシートに着目し、買い物の情報や店が売り上げを高める工夫を捉え、学習問題をつくる。	○レシートを調べ、店が売り上げを高める工夫について話し合い、学習問題をつくる。 ◆店の売り上げを高める工夫をもとに、学習問題をつくること。	①レシートを調べて、気づいたことを発表する。 ②店の売り上げを高める工夫について、店員にインタビューする。 ③売り上げを高めるための工夫について考え(疑問を出し合い)、学習問題をつくる。	【思判表】レシートの情報から、店が売り上げを高める工夫について話し合い、学習問題をつくっている。(発)(ノ)
学習問題 店ではたらく人たちは、お客さんによろこんで買ってもらえるように、どのようにふうをして売り上げを高めているのだろう。				

学習の見通しを立てよう P54～55 【配時 1】	学習問題について予想して、販売の仕事を調べる学習の見通しを立てる。	○スーパーマーケットを見学する計画を立て、見学の視点を確認する。 ◆ 学習問題について予想しながら、学習計画を考えること。	①教科書のイラストを使って、店の様子を観察する。 ②調べたことを整理し、店の工夫について予想する。 ③スーパーマーケットを見学する計画を立てる。	【態】 店の売り上げを高める工夫について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
スーパーマーケットの様子を調べよう P56～57 【配時 2】	スーパーマーケットの売り場の様子に着目して、さまざまな工夫とその目的を捉える。	○スーパーマーケットを見学し、売り場の工夫について調べ、わかったことをカードに書く。 ◆ スーパーマーケットでは、店の売り上げを高めるために、値段・品ぞろえ・新鮮さ・便利さなどの工夫をしていること。	①スーパーマーケットを見学して見つけた工夫をカードに書く。 ②それぞれの工夫の理由を考えて、値段、品ぞろえ、新鮮さ、便利さなどに分類する。 ③障がいのある人やお年寄りに利用しやすい工夫などを見つけて、カードに書く。 ④店の人に話を聞いて、わかったことをカードに書く。	【知技】 事前に決めた視点ごとに売り場の様子を観察して、必要な情報を集めている。(行)(ノ)
店ではたらく人の様子 P58～59 【配時 1】	スーパーマーケットで働く人にインタビューして、仕事の様子や気をつけていることを捉える。	○スーパーマーケットで働く人たちが、それぞれどのような工夫をして仕事をしていたかを調べ、発表する。 ◆ スーパーマーケットには、さまざまな仕事があり、それぞれ工夫をしたり協力したりしながら働く人がいること。	①店で働く人の様子を観察し、発表する。 ②店で働く人の仕事の工夫について考え、話し合う。 ③働く人たちがどうしの協力について考える。	【知技】 店には、販売の他にさまざまな仕事で働く人がいることを理解している。(発)(ノ)
商品はどこから P60～61 【配時 1】	商品の仕入れ先に着目し、それらが国内や外国にわたることを白地図にまとめて、他地域と広く関わっていることを捉える。	○スーパーマーケットの商品の産地を調べ、白地図に位置づけ整理する。 ◆ 商品の産地や仕入れ先を通じて、国内の他地域や外国と関わりがあること。	①商品の値札やパッケージ、広告のちらしから、それらの産地を調べる。 ②商品のパッケージや広告のちらしを切り取り、それらの産地を日本および世界の白地図に貼る。 ③他地域との関わりについて、わかったことを発表する。	【知技】 店は商品の仕入れを通じて、国内外の他地域と関わっていることを理解している。(発)
買い物で気をつけていることと店のくふう P62～63 【配時 1】	客や家の人の買い物の仕方に着目し、商品を買う時の願いを捉え、それらに店は対応していることを整理・分析する。	○客や家の人が、買い物で気をつけていることを調べ、それについて店はどのように対応しているのか整理する。 ◆ 客が買い物で気をつけていることに対応して、店では工夫して仕事をしていること。	①客や家の人に、買い物で気をつけていることをインタビューする。 ②客や家の人が気をつけていることにつながる、店の工夫を調べる。 ③客や家の人が気持ちよく買い物するための店の工夫について考え、発表する。	【知技】 消費者にはさまざまな関心があり、販売者はそれらに対応していることに気づき、両者の関わりを整理・分類している。(発)(ノ)
〈まとめる〉店のくふうをまとめよう P64～65 【配時 1】	店の仕事は客の願いを踏まえて売り上げを高めるよう工夫していることについて、関係図づくりを通じて考え、表現する。	○客の願いと店の工夫との関係をまとめ、気がついたことを発表する。 ◆ 店は客の願いに合わせた工夫や仕事をする中で、売り上げを高めようとしていること。	①学習をふり返り、客の願いと店の工夫を、短冊カードに書く。 ②客の願いと店の工夫を対応させ、関係図にまとめる。 ③関係図をもとに、気がついたことを話し合う。	【思判表】 客の願いと店の工夫を関連づけて、関係図に表現している。(発)(ノ) 【態】 学習したことや学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)

小単元 2	〈せんたく〉工場ではたらく人と仕事	配当時間 8 時間	教科書 3 P68～81
-------	-------------------	-----------	-----------------

目 標

- 地域の産業の様子を、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地域の産業の特色や意味、人々の生活との関連を考える力や、考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために、地域の産業の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようしたりする主体的な学習態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり地図などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことをノートにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程などに着目して、問いを見だし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・生産の仕事の種類や工場がある場所の分布、仕事の工程などと地域の暮らしを比較・関連づけたり、わかったことを総合するなどして地域の人々の生活との関連を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 工場ではたらく人と仕事 【配当8時間】

※「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
まちで人気のしゅうまい P68～69 【配時1】	地元でつくられているしゅうまいに関心をもち、しゅうまいの製造や消費について疑問をもつ。	○自分たちの市でつくられているしゅうまいに関心（興味）をもち、販売店の店員にインタビューしたり、疑問点を質問したりする。 ◆自分たちの市の名物と呼ばれるものが工場で作られたり、多くの人に消費されたりしていること。	①スーパーマーケットで販売されている弁当と、しゅうまい店の弁当を比べる。 ②しゅうまい店の店員にインタビューし、わかったことをカードに書く。 ③自分たちの市でしゅうまいがどれくらい消費されているか調べ、気づいたことを発表する。	【知技】市の名物と呼ばれるものを製造する工場とはどのような所かを考え、疑問に思ったことを質問している。（行）（発）
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P70～71 【配時1】	市内の工場分布に着目し、しゅうまい工場の位置や店員の話をもとに学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○市内の主な工場の分布を調べ、学習問題をつくり、工場の仕事を調べる学習の見通しを立てる。 ◆市内の主な工場分布をもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら学習計画を考えること。	①市内の主な工場の分布について調べる。 ②工場の位置や店員の話をもとに、学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、学習の見通しを立てる。	【思判表】市内の主な工場の分布を読み取り、しゅうまい工場に関わる疑問から学習問題をつくり、表現している。（発）（ノ） 【態】工場の仕事を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。（発）（ノ）
学習問題 工場の仕事にはどのようなふうがあり、わたしたちのくらしとどのようなつながりがあるのだろう。				
工場をたずねて P72～73 【配時2】	しゅうまい工場を見学して、しゅうまいづくりの工程や働く人の仕事について捉える。	○工場を見学して、しゅうまいの製造工程を調べ、わかったことを整理する。 ◆工場では機械による流れ作業によって、多くのしゅうまいを製造していること。	①工場を見学し、しゅうまいの製造工程を観察する。 ②工場で働く人の説明を聞き、メモを取る。 ③しゅうまいの製造工程や作業について確かめる。	【知技】しゅうまいの製造工程や、そこで働く人の仕事を理解している。（行）（ノ）
はたらく人が気をつけていること P74～75 【配時1】	工場の設備や働く人たちの服装に着目し、衛生や安全の大切さを捉える。	○工場の設備や働く人たちの服装などを調べ、工場で働く人たちは、どんなことに気をつけているか話し合う。 ◆工場で働く人たちは、特に衛生と安全に気をつけてしゅうまいづくりに取り組んでいること。	①工場の施設や働く人の服装について、気づいたことを発表し合う。 ②工場で働く人が気をつけていることを調べる。 ③調べてわかったことや、考えたことをまとめる。	【知技】工場内の設備や働く人の服装をもとに、安全や衛生の大切さについて理解している。（ノ）

工場ではたらく人たち P76～77 【配時 1】	工場の製造以外の部門で働く人に着目し、互いに協力していることを捉える。	○しゅうまい製造以外の仕事や、仕事別の労働時間などについて調べ、工場内における分業と協力について話し合う。 ◆工場ではしゅうまい製造以外にも関係するさまざまな仕事があり、仕事によって働く時間をずらすなどの工夫をしていること。	①工場には、製造の他にどのような仕事があるのか調べる。 ②工場で働く人の協力の仕方について考える。 ③工場と地域との関わりについて考え、話し合う。	【知技】工場には、しゅうまい製造の他にさまざまな仕事をする人がおり、互いに協力して仕事をしていることを理解している。(ノ)
製品はどこへ、原料はどこから P78～79 【配時 1】	製品とその原料に着目し、製品の配送先や原料の産地の広がりをつまみ、国内外の他地域とのつながりを捉える。	○しゅうまいの配送先や原料の産地、輸送のための工夫について調べ、話し合う。 ◆工場で生産された製品は高速道路などを利用して配送されたり、しゅうまいの原料が国内外のさまざまな地域から運ばれてきたりすること。	①工場で作られた製品は、どこへ運ばれるのか調べ、発表する。 ②製品の原料は、どこから運ばれてくるのか調べ、発表する。 ③調べたことをもとに、他地域との関わりについて話し合う。	【知技】しゅうまいの配送先や原料の産地について調べ、分布図や資料などをもとに読み取っている。(発)(ノ)
〈まとめる〉 地いきとともに歩むものづくり P80～81 【配時 1】	学習内容と学び方をふり返り、工場の仕事と地域の関わりについて整理・分析し、ノートに表現する。	○工場のごみを少なくする工夫や、しゅうまいづくりが始まった経緯を調べ、工場と地域のつながりについて話し合い、学習についてまとめる。 ◆工場の人たちは、環境への配慮やまちの歴史を大切に、地域とのつながりの中で仕事をしていること。	①工場のごみを少なくする工夫や、しゅうまいづくりが始まった経緯を調べ、わかったことを発表する。 ②工場と地域との関わりについて考え、発表する。 ③学習問題とこれまでの学習をふり返り、工場と自分たちの暮らしとの関わりについてノートにまとめる。	【思判表】工場の仕事と地域の人々の暮らしとの関わりについて考え、これまでの追究をまとめ、ノートに表現している。(ノ) 【態】これまでの学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)

小単元 2	〈せんたく〉農家の仕事	配当時間 8 時間	教科書 3 P82～93
-------	-------------	-----------	-----------------

目 標

- 地域の産業の様子を、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳などの資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地域の産業の特色や意味、人々の生活との関連を考える力や、考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために、地域の産業の様子について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとする主体的な学習態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・農作物などをつくる仕事の種類や、田や畑の場所や産地の分布、働く人の仕事の工程などについて見学・調査したり地図などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、生産に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ・調べたことをノートにまとめ、生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	・農作物などをつくる仕事の種類や、田や畑の場所や産地の分布、働く人の仕事の工程などに着目して、問いを見いだし、生産に携わっている人々の仕事の様子について考え表現している。 ・農作物などをつくる仕事の種類や、田や畑の場所や産地の分布、働く人の仕事の工程など地域の暮らしを比較・関連づけたリ、わかったことを総合するなどして地域の人々の生活との関連を考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域に見られる生産の仕事について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

小単元名：2 農家の仕事 【配当8時間】

※「工場ではたらく人と仕事」または「農家の仕事」を選択して学習

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

（発）＝発言・発表、（行）＝行動観察、（ノ）＝ノート・作品、（テ）＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
地いきでつくられる野菜 P82～83 【配時1】	スーパーマーケットの野菜売り場や給食の食材に関心をもち、地元で生産されている農作物について捉える。	○店で地元産の野菜が販売されていることや、学校の栄養士の話をもとに、地域でつくられている野菜について疑問に思ったことをあげる。 ◆自分たちの市では野菜が生産されており、店で売られたり給食の材料に使われたりすること。	①スーパーマーケットの地元野菜売り場を想起し、話合う。 ②地元野菜の食材について、栄養士の先生に話を聞く。 ③身近な地域や市内でつくられた野菜について、話合う。	【知技】地元の農作物が、店の野菜売り場にあったり、給食に使われたりしていることを理解している。（ノ）
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P84～85 【配時1】	市内ではさまざまな農作物がつくられていることに着目し、市で盛んなこまつなづくりについて取り上げ学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○市内でつくられている主な農作物の分布を調べ、市で盛んなこまつな生産を取り上げて学習問題をつくり、農家の仕事を調べる学習の見通しを立てる。 ◆こまつなが給食に使われていることや、こまつな生産は市の北部に多いことをもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら学習計画を考えること。	①市内で生産されている野菜の種類と場所を調べる。 ②市内で多く生産されているこまつなを取り上げ、学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、学習の見通しを立てる。	【思判表】市内でつくられている主な農作物の分布を読み取り、こまつなを生産する農家の仕事を上げて学習問題をつくり、表現している。（発）（ノ） 【態】農家の仕事を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。（発）（ノ）
学習問題 農家の仕事にはどのようなふうがあり、わたしたちのくらしとどのようなつながりがあるのだろう。				
加藤さんの畑をたずねて P86～87 【配時2】	農家の畑を見学して、こまつなづくりの過程や農家の仕事について、捉える。	○農家を見学し、こまつなの生産過程を調べ、わかったことを整理する。 ◆こまつなは一年中生産できることや、生産するためのさまざまな仕事があること。	①畑やビニールハウス、さまざまな道具を観察する。 ②こまつなづくりの過程や作業、農家の工夫や努力について、話を聞く。 ③気になったことを質問する。	【知技】農家を訪ねて農地や施設を観察したり、農家の人に話を聞き取ったりして、こまつなの生産過程を理解している。（行）（ノ）
こまつなづくりのくふう P88～89 【配時2】	こまつなの種まきや土づくりなどの仕事の工夫に着目して、その目的などを捉える。	○こまつな生産における工夫について調べ、農家の人から聞き取ったことをもとにまとめる。 ◆農家では、こまつな以外にもさまざまな野菜を生産していることや、種まきや土づくりなどの工夫をしていること。	①作物カレンダーを見て、こまつなづくりの期間と仕事を確かめる。 ②農家の仕事（種まき、シートの利用、土づくり）の工夫についてまとめる。 ③農家の仕事の工夫を整理し、話合う。	【知技】こまつなを育てる仕事には、種まきの時期や土づくりなど、さまざまな工夫があることを理解している。（発）（ノ）
こまつなはどこへ P90～91 【配時1】	こまつなの出荷に着目して、その過程や出荷先を捉え、地域や他地域とのつながりを捉える。	○こまつなの収穫から出荷までの様子や、出荷先について調べ、農家と自分たちの生活とのつながりに気がつく。 ◆収穫したこまつなは、地元や他の地域に出荷され、自分たちの生活とつながっていること。	①こまつなの収穫の様子をふり返る。 ②こまつなの出荷先について調べる。 ③こまつなが市の内外にある店などに運ばれていることを確かめる。	【知技】こまつなの収穫から出荷までの過程や、市内外の各地に出荷されていることを理解している。（発）（ノ）

〈まとめる〉 地いきとつながる野菜づくり P92～93 【配時 1】	学習内容と学び方を ふり返り、農家の仕事 と地域の暮らしとの つながりについて整 理・分析し、ノートに 表現する。	○農家の仕事と地域の暮らしとの つながりについて調べ、こま つな生産についてまとめる。 ◆農家は農業体験や作物の直売 などで地域の人たちとつながり をもったり、農地が地域の環境 保全に役立っていたりすること。	①こまつなづくりと地域との つながりについて考える。 ②これまでの学習をふり返り、 農家の仕事と地域とのつなが りについてノートにまとめる。 ③まとめたことをもとに、発表 し合う。	【思判表】農家の仕事と地域 の人々の暮らしとのつなが りを考え、これまでの追究を まとめノートに表現してい る。(ノ) 【態】これまでの学び方をふ り返り、これからの学習に生 かそうとしている。(発)(ノ)
---	--	---	---	--

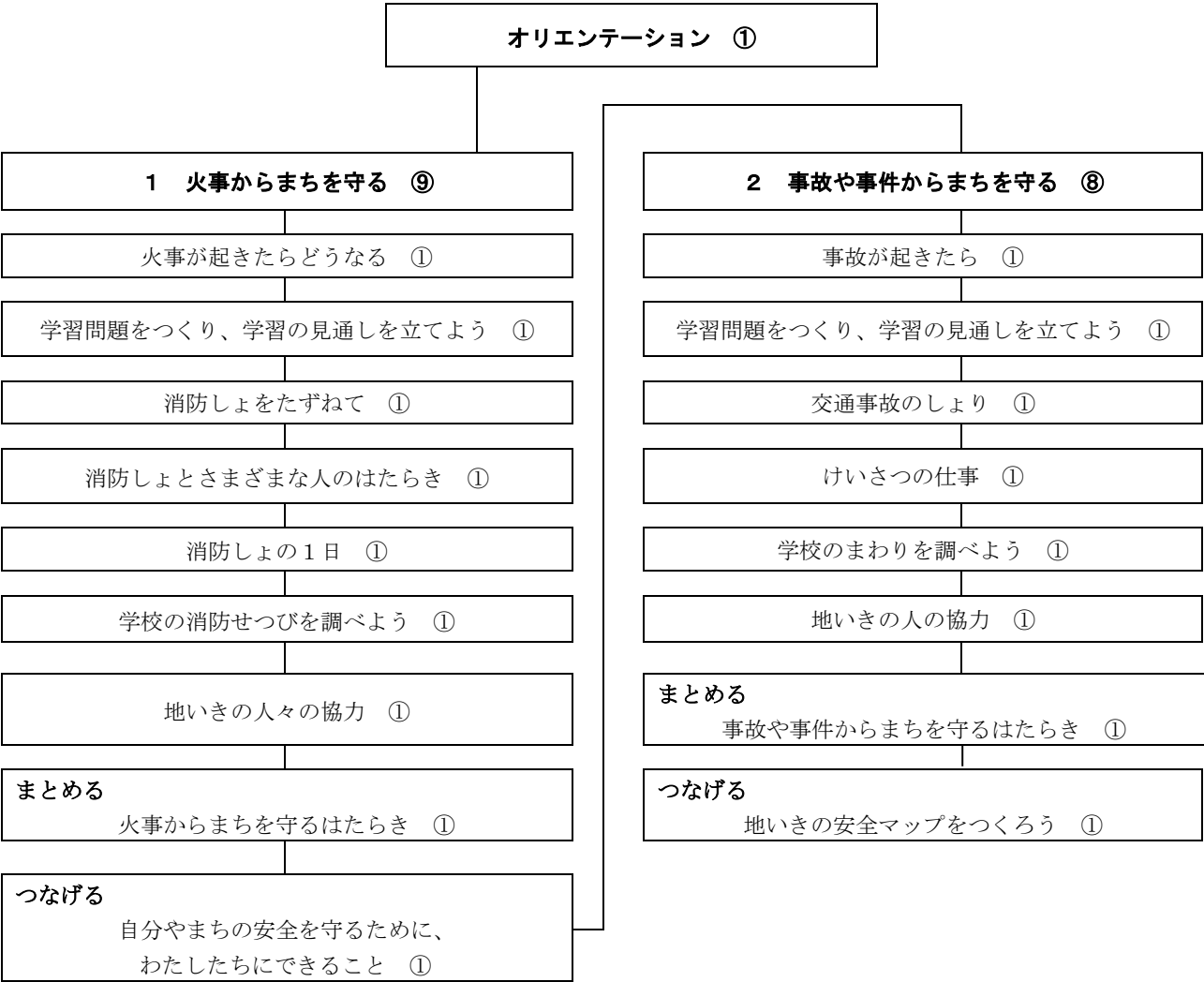
大単元 3	地いきの安全を守る	配当時間 18 時間	教科書 3 P94～127
-------	-----------	------------	------------------

目 標

- 地域の安全を守るための諸活動について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地域の安全を守るための諸活動の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 地域の安全を守るための諸活動について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解している。 ・見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。	・施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現している。	・地域の安全を守る働きについて、主体的に問題解決しようとしている。



○の中の数字は、配當時数。

小単元 1	火事からまちを守る	配当時間 9 時間	教科書 3 P96～113
-------	-----------	-----------	------------------

目 標

- 消防署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 消防署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。
- 消防署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・消防署の分布や、消火栓や火災報知器、消防水利、消防団倉庫などの配置、働いている人の勤務体制や待機の仕方、訓練、施設・設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、消防署や地域の人々の諸活動を理解している。 ・調べたことを白地図や関係図にまとめ、消防署を中心に警察署など関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火事などの防止に努めていることを理解している。	・消防署の分布や、消火栓や火災報知器、消防水利、消防団倉庫などの配置、働いている人の勤務体制や待機の仕方、訓練、施設・設備の点検、通信指令室を中心とするネットワークなどに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ・わかったことを関連づけたり、総合するなどして消防署を中心とするさまざまな関連機関の連携や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域の人々の生命や財産を脅かす火災から、安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。

大単元名： 3 地いきの安全を守る 【配当 18 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P94～95 【配時 1】	火災現場のイラストに着目し、描かれた火事の現場や人々の様子を捉え、消火活動について関心をもつ。	○火災現場のイラストを読み取り、描かれた状況と、だれが、どのようなことをしているのか、を発表する。 ◆火災現場には消防士をはじめ警察官なども駆けつけ、消火活動に協力していること。	①イラストを見て、どのような場面なのか、発言する。 ②どのような人たちがいるか確かめる。 ③人々がどのようなことをしているのか話し合う。	【知技】イラストに描かれている場面を読み取り、消防士や警察官などが協力して消火活動をしていることを捉えている。(発)(ノ)

小単元名： 1 火事からまちを守る 【配当 9 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
火事が起きたらどうなる P96～97 【配時 1】	学校での避難訓練を想起し、市内の消防署の分布図を読み取ることを通して、消防署が市内に多数ある理由を考える。	○学校での避難訓練の様子をふり返るとともに、市内の消防署の分布図を読み取り、わかることを発表する。 ◆緊急時に対応するには、ふだんからの心がけが大事であることや、消防署は市内に分散して配置されていること。	①学校で実施した避難訓練の体験をふり返り、話し合う。 ②市内の消防署や出張所などの分布図を見て、それらの場所を確かめる。 ③消防署や出張所が、市内に多数ある理由を考え、話し合う。	【思判表】市内の消防署の分布図を読み取り、市内に多数ある理由を考え、表現している。(発)(ノ)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P98～99 【配時 1】	火事が発生した時の消防署の働きを取り上げて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○火災現場の写真を読み取って学習問題をつくり、消防署の働きを調べる学習の見通しを立てる。 ◆火災への対応をもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら学習計画を考えること。	①火災現場の写真を見ながら、気がついたことを話し合う。 ②消火活動について予想したこと、調べたいことを出し合い、学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、学習の見通しを立てる。	【思判表】火事が発生した時の消防署の対応を取り上げて学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】消防署の働きを調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
学習問題 消防しょは、どのようにして火事から学校やまちを守っているのだろう。				
消防しょをたずねて P100～101 【配時 1】	消防署を見学して消防自動車や防火服などに着目し、それらの設備や消火活動について捉える。	○消防署を見学して、消防自動車や防火服、迅速な出動の工夫などについて調べる。 ◆出動までの署員の動きや防火服と靴のセットなどをもとに、消防署は迅速に出動するために備えていること。	①消防自動車や消火活動で使われる道具を見学する。 ②早く消火するための工夫を調べる。 ③調べたことをカードやノートにまとめる。	【知技】消防署を訪ね、消防自動車や設備などを調べたり、職員の仕事についてインタビューしたりして、必要な情報を集めている。(発)(行)

消防しょとさまざまな人の はたらき P102～103 【配時 1】	火災に対する消防署や関係機関の働きに着目して、互いに連携して行動していることについて捉える。	○119 番の電話はどこにつながり、火災に対してどのような機関と連携・協力しているのかを調べる。 ◆119 番の通報の仕組み図を読み取り、通信指令室を中心として、さまざまな関係機関と連携・協力して火災に対処していること。	①119 番の電話による通報は、どこにつながるのか調べる。 ②通信指令室はどのような関係機関と連携するのか調べる。 ③通信指令室の役割について考える。	【知技】119 番の通報の仕組みを捉え、緊急時における関係機関との連携や協力について理解している。(発)(ノ)
消防しょの 1 日 P104～105 【配時 1】	消防署での日常的な仕事に着目して、設備の点検や出動に備えた訓練などに取り組んでいることについて捉える。	○消防や救助の仕事をする人の話を聞いたり、勤務時間の表を読み取ったりして、火災が発生していない時の消防署の仕事について調べる。 ◆消防署には日常的な訓練や点検、啓発などの仕事があること。	①出勤がない時の、消防署の仕事を予想する。 ②消防署の仕事の時間割や 1 日の仕事を調べる。 ③消防署の仕事の工夫を考える。	【知技】消防署員の日常的な仕事や、職員の勤務体制について理解している。(発)(ノ)
学校の消防せつびを調べよう P106～107 【配時 1】	学校の消防設備に着目して、それらの役割や計画的な配置、火災の際の消防計画が立てられていることについて捉える。	○学校の消防設備を調べて配置図にまとめたり、先生の話から学校における消防の取り組みを調べたりする。 ◆学校にはさまざまな消防設備があり、適切に配置されていること。また、学校は消防計画に沿って、火災に備えていること。	①学校の消防設備の場所を調べる。 ②それぞれの場所に消防設備が置かれている理由を考える。 ③設備の他に、学校での消防の取り組みについて調べる。	【知技】学校の消防設備について、設置場所や役割を調べるとともに、学校は消防計画をつくり火災に備えていることを理解している。(発)(ノ)
地いきの人々の協力 P108～109 【配時 1】	地域の消防施設に着目して、それらの役割や配置、消防団などの活動について捉える。	○地域にある消防施設を調べて白地図にまとめたり、消防団などの取り組みについて調べたりする。 ◆地域にはさまざまな消防施設があり、適切な位置に配置されていること。また、消防団は消防署と協力して、地域の火災に備えていること。	①地域の消防施設を調べて、それらの場所を白地図に書き込む。 ②消防団などの人々の取り組みについて調べる。 ③火事の発生を予防するための取り組みについて話し合う。	【知技】地域の消防施設について、設置場所や役割を調べるとともに、消防団など地域の人々は消防署と協力して火災に備えていることを理解している。(発)(ノ)
〈まとめる〉 火事からまちを守るはたらき P110～111 【配時 1】	学習内容と学び方をふり返り、消防署の働きについて整理・分析し、標語に表現する。	○消防署の働きについて、消火と防火の面からまとめ、標語に表現する。 ◆消防署はさまざまな関係機関と連携・協力して、火災に対処したり、火災を防ぐ取り組みをしたりしていること。	①学習問題と調べたことをふり返り、関係図にまとめる。 ②関係図を見て、消防活動について標語にまとめる。 ③自分がつくった標語の理由について発表し合う。	【思判表】火事からまちを守る働きについて、関係機関の連携を中心に関係図にまとめ、大切だと考える内容を標語に表現している。(発)(ノ) 【態】学習したことや学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)
〈つなげる〉 自分やまちの安全を守るために、わたしたちができること P112～113 【配時 1】	火事から自分やまちの安全を守るために、大切と考えることや行動に向けた意識をもつ。	○火事から自分やまちの安全を守るために大切なことについて話し合い、学習内容を根拠として発表し、相互に評価する。 ◆火事から自分やまちの安全を守るための心がけや行動について、自覚すること。	①火事から自分の身の安全や地域の安全を守るために、できることを話し合う。 ②自分が最も大切と考えることを、理由とともに発表し合う。 ③友達の発表を聞いて、相互に評価し合う。	【思判表】地域社会の一員として自分たちにも協力できることや、自分自身の安全を守るために心がけるべきことを選択・判断して表現している。(発)(ノ) 【態】地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにできることを選択・判断して表現しようとしている。(発)(ノ)

小单元 2	事故や事件からまちを守る	配当時間 8 時間	教科書 3 P114～127
-------	--------------	-----------	-------------------

目 標

- 警察署の働きについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 警察署など関係機関の相互の関連や、人々の生活との関連、そこに従事する人々の働きについて考え、考えたことを表現する力を養う。
- 警察署の働きについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「子ども 110 番の家」などの位置や分布について見学・調査したり資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、警察署や地域の人々の諸活動を理解している。 ・調べたことを関係図や安全マップなどにまとめ、警察署を中心に消防署など関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解している。	・働いている人の勤務体制や待機の仕方、パトロールの様子、ガードレールや交通標識、信号、カーブミラー、「子ども 110 番の家」などの位置や分布に着目して、問いを見いだし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え表現している。 ・わかったことを関連づけたり、総合するなどして警察署を中心とするさまざまな関連機関の連携や従事する人々の働きを考えたり、学習したことをもとに社会への関わり方を選択・判断したりして、適切に表現している。	・地域の人々の生命や財産を脅かす事故や事件から、安全を守る働きについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ・学習したことをもとに、地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。

小単元名：2 事故や事件からまちを守る 【配当8時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
事故が起きたら P114～115 【配時1】	区(市)内の交通事故発生件数の変化、事故発生場面別の負傷者数に関心を持ち、棒グラフの意味を読み取る。	○区(市)で発生した交通事故の件数や負傷者数のグラフを読み取り、わかったことを話し合う。 ◆区(市)内の交通事故の件数は減少傾向にあることや、交通事故の場面によって負傷者数に違いがあること。	①交通事故の写真を見て気がついたことを話し合う。 ②交通事故に関するグラフを読み取る。 ③交通事故に関するグラフを見て、わかることを話し合う。	【思判表】区(市)の交通事故に関するグラフを読み取り、時間的な変化や場面による違いについて考え、表現している。(発)(行)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P116～117 【配時1】	地域では交通事故の他に事件も発生していることに着目し、警察署の働きを取り上げて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○交通事故や事件に対処する警察署の仕事について、予想して学習問題をつくり、警察署の働きを調べる学習の見通しを立てる。 ◆事故や事件への対処について話し合って学習問題をつくり、それについて予想して学習計画を考えること。	①警察の仕事の様子を観察する。 ②気づいたことや考えたことから、学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、学習計画を話し合う。	【思判表】地域で発生している事故やさまざまな事件への対応を取り上げて学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】警察署の働きを調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
学習問題 けいさつしょや地いきの人々は、 どのようにして事故や事件からまちを守っているのだろう。				
交通事故のし より P118～119 【配時1】	警察署の交通事故を処理する仕事に着目し、110番の通報の仕組みについて捉える。	○交通事故を処理する警察署の仕事や、110番の通報の仕組みについて調べる。 ◆交通事故の迅速な処理のため110番の通報の仕組みがあり、110番センター(通信指令室)を中心として対処していること。	①交通事故が起きた時の、警察署の仕事进行を予想する。 ②交通事故が発生した時の警察署の仕事の調べ。 ③110番の連絡の仕組みを調べる。	【知技】警察署は交通事故を処理する仕事をしていることや、110番の通報の仕組みを理解している。(発)(ノ)
けいさつの仕事 P120～121 【配時1】	地域の交番を見学して警察の仕事に着目し、地域の安全のための仕事をしていることを捉える。	○地域の安全を守るための交番の仕事について調べる。 ◆交番や警察署では、地域の安全を守るために、登校の見守りや交通安全教室、パトロールや巡回連絡などを行っていること。	①交番の警察官にインタビューをする。 ②交番の警察官の仕事を調べる。 ③警察署の仕事は、地域とどのように関わっているのか考える。	【知技】警察署や交番では事故や事件を防ぐために、登校の見守りやまちのパトロールなどのさまざまな仕事をしていることを理解している。(発)(ノ)
学校のまわり を調べよう P122～123 【配時1】	交通事故を防ぐための施設に着目し、それらの役割や交通法規、ルールを守ることの意味を捉える。	○交通事故を防ぐための施設とその役割を調べ、施設がその場所に設置された理由を考える。 ◆地域には、交通事故を防ぐためのさまざまな施設があること。また、守るべき法律や交通ルールなどのきまりがあること。	①登下校の様子をふり返り、学校の周りの交通事故を防ぐための施設を調べる。 ②交通事故を防ぐための施設が、その場所にある理由を考える。 ③調べて気づいたことや考えたことを話し合う。	【知技】交通事故を防ぐための施設やその役割を捉えるとともに、それらが交通量や道路事情に応じて設置されていることを理解している。(発)(ノ)

地いきの人の協力 P124～125 【配時 1】	事故や事件を防ぐための地域の人々の活動に着目し、警察署と連携・協力して活動していることを捉える。	○地域の人々による交通事故や事件を防ぐための取り組みを調べる。 ◆「子ども見守り隊」を組織したり、地域安全会議を開いたりするなど、地域の人々は協力して安全を守るための活動をしていること。	①地域の人々の交通事故や事件を防ぐ取り組みを調べる。 ②地域の安全を守る仕組みについて調べる。 ③地域の安全のために、自分たちのできることを話し合う。	【知技】地域の人々は警察署と連携して、地域の安全を守るためのさまざまな取り組みをしていることを理解している。(発)(ノ)
〈まとめる〉 事故や事件からまちを守るはたらき P126 【配時 1】	学習内容と学び方をふり返り、警察署の働きについて整理・分析し、関係図にまとめる。	○警察署の働きについて、事故や事件に対処したり、防いだりするための活動をもとに考え、まとめる。 ◆警察署はさまざまな関係機関と協力しながら、事故や事件に対処したり、その発生を防いだりしていること。	①学習問題をふり返り、調べてきたことを発表する。 ②事故や事件からまちを守る働きについて、関係図にまとめる。 ③関係図を見て、いちばん大切だと思うことを発表し合う。	【思判表】事故や事件からまちを守る働きについて、警察署と関係機関の連携を中心に関係図にまとめている。(発)(ノ) 【態】学習したことや学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)
〈つなげる〉 地いきの安全マップをつくろう P127 【配時 1】	事故や事件から自分やまちの安全を守るために、大切と考えることや行動に向けた意識をもつ。	○事故や事件から自分やまちの安全を守るために大切なことについて、地域の「安全マップ」をまとめたうえで話し合い、発表する。 ◆事故や事件から自分やまちの安全を守るための心がけや行動について、自覚すること。	①地域の中の事故や事件の発生しやすい場所などについて、「安全マップ」にまとめる。 ②自分やまちの安全を守るためにできることを考えて、発表し合う。 ③友達の発表を聞いて、相互に評価し合う。	【思判表】地域の危険な場所、事故や事件を防ぐための施設について、安全マップに表現している。(発)(ノ) 【態】地域や自分自身の安全を守るために、自分たちにできることを選択・判断して表現しようとしている。(発)(ノ)

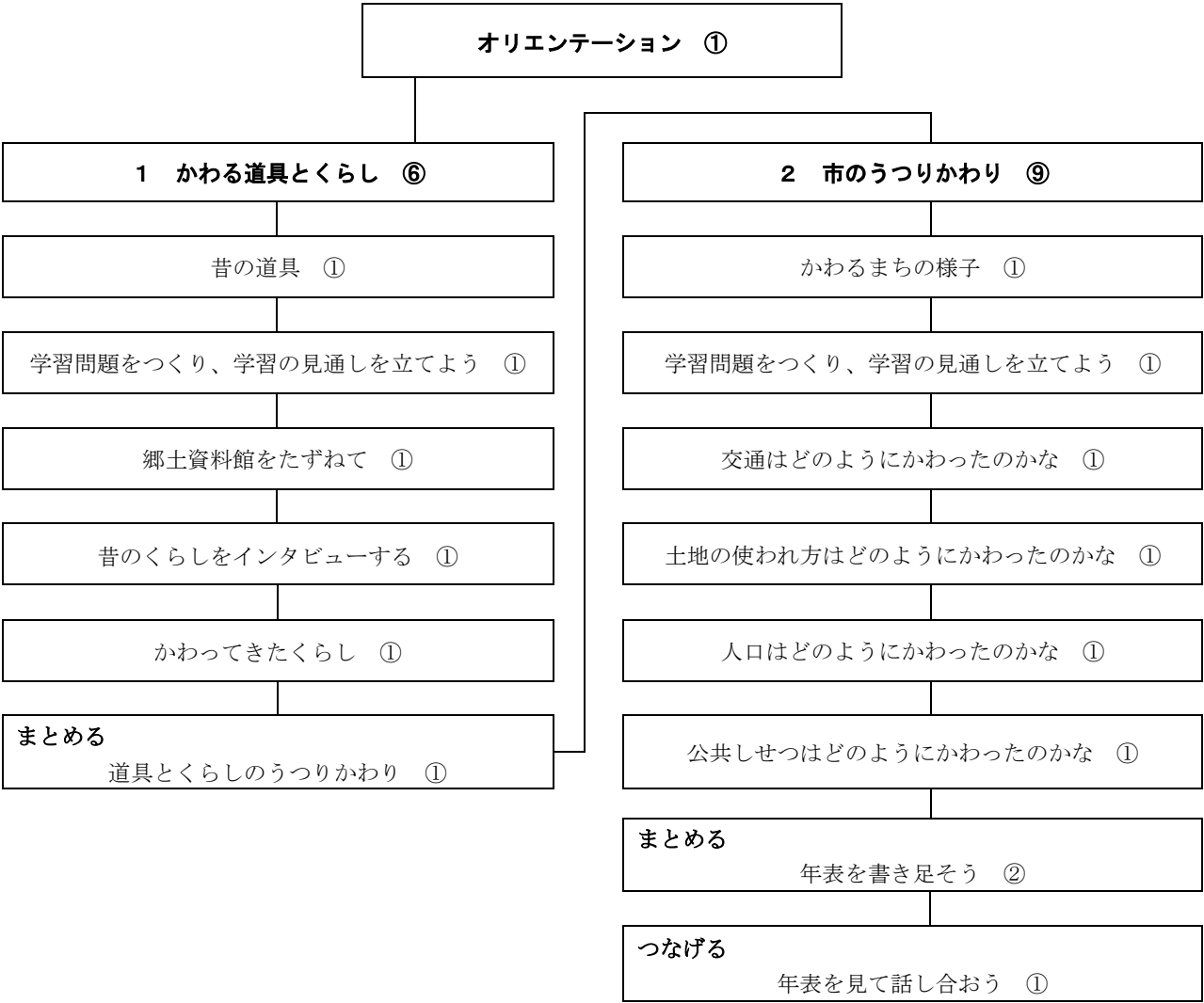
大単元 4	わたしたちの市の歩み	配当時間 16 時間	教科書 3 P128～157
-------	------------	------------	-------------------

目 標

- 地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 地域の様子の移り変わりの特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- 地域の様子の移り変わりについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。 ・聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。	・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現している。	・市の様子の移り変わりについて、主体的に問題解決しようとしたり、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしたりしている。



○の中の数字は、配当時数。

小単元 1	かわる道具とくらし	配当時間 6 時間	教科書 3 P130～141
-------	-----------	-----------	-------------------

目 標

- 生活の中で使われる道具の変化について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 生活の中で使われる道具の変化や、人々の生活との関連を考える力、考えたことを表現する力を養う。
- 学習問題を追究・解決するために、使われる道具の変化について意欲的に調べ、特色や相互の関連、意味について粘り強く考えたり、調べたことや考えたことを表現しようとしたりする主体的な学習態度を養う。

評価規準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・炊事や洗濯など家事に使用する道具、明かりや暖をとる道具など生活の中で使われた道具について、見学や聞き取り調査をして調べ、必要な情報を集め、人々の生活の様子を理解している。 ・調べたことを道具調べカードや年表にまとめ、人々の生活の移り変わりについて理解している。	・炊事や洗濯など家事に使用する道具、明かりや暖をとる道具など生活の中で使われた道具などに着目して、問いを見いだし、人々の生活の様子について考え表現している。 ・昔の道具と今の道具を比較したり、わかったことを総合したりするなどして人々の生活の様子の変化について考え表現している。	・人々の生活の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

大単元名： 4 わたしたちの市の歩み 【配当 16 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
オリエンテーション P128～129 【配時 1】	教科書のイラストに描かれたまちや人々の様子に関心をもち、現在のイラストと比較してまちの様子の変化に関心をもつ。	○イラストに描かれた交通の様子や土地利用の様子、公共施設などを読み取り、教科書 P8～9 のイラストと比較して、まちの様子の変化について話し合う。 ◆自分たちが住むまちの交通、土地利用、公共施設などの様子は、移り変わってきたこと。	①イラストに描かれている交通、土地利用、公共施設などの様子や人々の様子を確かめる。 ②教科書 P8～9 のイラストと比較して、様子の違いを読み取る。 ③昔と今とで、まちの様子が変わってきたことについて話し合う。	【思判表】イラストの内容を読み取り、教科書 P8～9 のイラストと比較して、まちの様子の変化について考え、表現している。(発)(ノ)

小単元名： 1 かわる道具とくらし 【配当 6 時間】

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
昔の道具 P130～131 【配時 1】	地域で使われている昔の道具に着目し、昔の道具に関心をもつ。	○地域の年中行事などの中で、昔の道具を見たり、使ったりした経験をもとに話し合い、昔の道具に興味をもつ。 ◆身近なところに昔の道具が使われていること。また、昔の道具の使われ方。	①地域で今でも使われている昔の道具について話し合う。 ②学校にある郷土資料室などを見学し、昔の道具を探す。 ③昔の道具が、それぞれのようないかに使われていたのかを調べる。	【思判表】昔の道具に触れた経験をもとに、昔の道具の使われ方や、今の道具との違いについて考え、表現している。(発)(ノ)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P132～133 【配時 1】	昔の道具の用途に着目し、それらが使われていた頃の暮らしを取り上げて学習問題をつくり、学習の見通しを立てる。	○昔と今の道具の違いをもとに学習問題をつくり、道具と暮らしの移り変わりについて調べる学習の見通しを立てる。 ◆昔の道具に触れた経験をもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら、道具と暮らしの移り変わりを調べる学習計画を考えること。	①昔の道具を調べて、気づいたこと発表する。 ②昔と今の暮らしの違いをもとに学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、調べることに調べ方を決めて、学習計画を立てる。	【思判表】昔の道具が使われていた頃の暮らしの様子について学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】道具と人々の暮らしの変化を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
学習問題 道具がかわることで、人々のくらしはどのようにかわってきたのだろう。				
郷土資料館をたずねて P134～135 【配時 1】	地域の郷土資料館を訪ね、昔の道具に着目し、当時の暮らしの様子(電化前)を捉える。	○郷土資料館を見学し、昔の道具について調べて、それぞれ絵カードにまとめる。 ◆観察した昔の道具の名称、使われていた時期や用途など。	①地域にある郷土資料館などを見学する。 ②昔の道具の名称、使われていた時期、用途について調べる。 ③調べた道具について、絵カードにまとめる。	【知技】道具を観察したり、郷土資料館の人に聞いたりして、道具の使い方や使われていた時期など必要な情報を集め、絵カードにまとめている。(行)(ノ)

昔のくらしをインタビューする P136～137 【配時 1】	昔の道具(電化製品など)を使っていた頃の暮らしに着目し、身近な人にインタビューし、当時の暮らしの様子を捉える。	○地域に詳しいお年寄りや身近な人に、昔の道具(電化製品など)と、それを使っていた頃の暮らしの様子についてインタビューして調べる。 ◆暮らしの中で使われた道具(電化製品など)や、人々の暮らしは移り変わってきたこと。	①家の人に、昔の道具(電化製品など)についてインタビューする。 ②当時の暮らしの様子について、インタビューする。 ③今と昔の暮らしの違いについてまとめる。	【知技】祖父母や父母など家の人に、子どもの頃に使っていた道具や暮らしについてインタビューし、必要な情報を集めている。(行)(ノ)
かわってきたくらし P138～139 【配時 1】	同じ用途の道具の変化に着目し、人々の暮らしの変化について、整理・分析する。	○昔と今の、洗濯などの家事で使われる道具について調べて、その違いについて話し合う。 ◆道具の変化に伴い、人々の暮らしが移り変わってきたこと。	①昔と今の洗濯道具の写真を見て、使い方を比べる。 ②道具とともに、人々の暮らしがどのように変わったのか話し合う。 ③話し合っってわかったことをまとめる。	【思判表】洗濯で使う道具の変化と、それに伴う暮らしの変化について整理・分析し、表現している。(発)(ノ)
〈まとめる〉 道具とくらしのうつりかわり P140～141 【配時 1】	年表づくりを通して、道具と人々の暮らしが移り変わってきたことを表現する。	○道具の変化と暮らしの変化について、その移り変わりを年表にまとめ、わかったことを話し合う。 ◆道具が変わることで、人々の暮らしの様子は、時期によって移り変わってきたこと。	①これまでにつくった「道具調べカード」などを使って、年表にまとめる。 ②年表に、その年代の主なできごとや人々の暮らしの様子についてまとめる。 ③まとめた年表で、道具とともに人々の暮らしが移り変わってきたことを確かめる。	【思判表】道具と人々の暮らしの変化を年表にまとめ、その移り変わりについて表現している。(ノ) 【態】学習したことや学び方をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)

小単元 2	市のうつりかわり	配当時間 9 時間	教科書 3 P142～157
-------	----------	-----------	-------------------

目 標

- 市の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、具体的な資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 市や人々の生活の様子の変化などを考える力、地域の課題やこれからの市の発展について考えたりする力、考えたことを表現する力を養う。
- 市の様子の移り変わりについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、これまでの学習をふり返り、学習したことを確認するとともに、学習成果をもとに、生活の在り方やこれからの地域社会の発展について考えようとする態度を養う。

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・交通や公共施設、土地利用や人口などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり地図やグラフなどの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、市の様子を理解している。 ・調べたことを絵カードや年表にまとめ、市の様子の移り変わりについて理解している。	・交通や公共施設、土地利用や人口などの時期による違いなどに着目して、問いを見だし、市の様子について考え理解している。 ・交通や公共施設、土地利用や人口などの今と昔を比較・関連づけしたり、わかったことを総合したりして市の様子の変化について考え表現している。	・市の様子の移り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。

【態】＝主体的に学習に取り組む態度、【知技】＝知識・技能、【思判表】＝思考・判断・表現

(発)＝発言・発表、(行)＝行動観察、(ノ)＝ノート・作品、(テ)＝テスト

ページ	本時のねらい	○主な学習活動／◆学習内容	本時の学習活動	評価規準/評価方法
かわるまちの様子 P142～143 【配時1】	同じ場所を撮影した昔と今の写真に着目し、まちの風景に違いがあることを捉える。	○駅の様子を撮影した新旧の写真と比較し、まちの風景が変化していることに興味をもつ。 ◆駅や周辺の風景は変化してきたこと。	①昔の駅やその周りの様子について、撮影した写真を観察する。 ②今の駅やその周りの様子について、撮影した写真を観察する。 ③昔と今の写真を比べて、様子の違いについて話し合う。	【思判表】昔と今の駅の風景を比較し、その違いを考え、表現している。(発)
学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう P144～145 【配時1】	昔の市の様子に着目して学習問題をつくり、第1大単元の学習内容を生かしながら予想して、学習の見通しを立てる。	○郷土資料館の人の話をもとに学習問題をつくり、市の移り変わりについて調べる学習の見通しを立てる。 ◆郷土資料館の人の話をもとに学習問題をつくり、それについて予想しながら市の移り変わりを調べる学習計画を考えること。	①昔の市の様子について、家族などから聞き取る。 ②市の様子の移り変わりについて、わかったことをもとに学習問題をつくる。 ③学習問題について予想し、調べることと調べ方を決めて、学習計画を立てる。	【思判表】市の様子が移り変わってきたことについて学習問題をつくり、表現している。(発)(ノ) 【態】市の様子の変化を調べる学習問題について予想し、学習の見通しを立てて主体的に追究しようとしている。(発)(ノ)
学習問題 市の様子は、どのようにかわってきたのだろう。				
交通はどのようにかわったのかな P146～147 【配時1】	交通に着目して、関係者にインタビューしたり新旧の交通網地図を比較したりして、時期による違いを捉える。	○市の交通の移り変わりについて調べ、絵カードにまとめる。 ◆市の交通網の広がりの変化してきたこと。	①駅で働く人にインタビューをする。 ②市内の新旧の交通網地図を比べて、その移り変わりについて話し合う。 ③調べたことを絵カードにまとめる。	【知技】交通機関の関係者にインタビューしたり、新旧の交通網地図を比較したりして、わかったことを絵カードにまとめている。(ノ)
土地の使われ方はどのようにかわったのかな P148～149 【配時1】	土地利用に着目して、関係者にインタビューしたり新旧の土地利用図を比較したりして、時期による違いを捉える。	○市の土地利用の移り変わりについて調べ、絵カードにまとめる。 ◆市の土地利用は変化してきたこと。	①農家の人にインタビューをする。 ②市内の新旧の土地利用図などを比べて、その移り変わりについて話し合う。 ③調べたことを絵カードにまとめる。	【知技】農家にインタビューしたり、新旧の土地利用図を比較したりして、わかったことを絵カードにまとめている。(ノ)
人口はどのようにかわったのかな P150～151 【配時1】	人口に着目して、関係者にインタビューしたり市の人口のグラフを読み取ったりして、時期による違いを捉える。	○市の人口の移り変わりについて調べ、絵カードにまとめる。 ◆市の人口は変化してきたこと。	①昔からまちに住む人にインタビューをする。 ②市の人口変化のグラフを読み取り、その移り変わりについて話し合う。 ③調べたことを絵カードにまとめる。	【知技】自治会関係者や高齢者などにインタビューしたり、人口のグラフを読み取ったりして、わかったことを絵カードや年表にまとめている。(ノ)

公共施設はどのようにかわったのかな P152～153 【配時 1】	公共施設に着目して、関係者にインタビューしたり新旧の公共施設の分布図を比較したりして、時期による違いを捉える。	○市の公共施設の移り変わりについて調べ、絵カードにまとめる。 ◆市の公共施設は変化してきたこと。	①公共施設で働く人にインタビューをする。 ②市内の新旧の主な公共施設の分布図を比べて、その移り変わりについて話し合う。 ③調べたことを絵カードにまとめる。	【知技】公共施設の職員にインタビューしたり、新旧の公共施設の分布図を比較したりして、わかったことを絵カードにまとめている。(ノ)
〈まとめる〉 年表を書き足そう P154～155 【配時 2】	これまで調べてきた市の交通、土地利用、人口、公共施設の移り変わりを整理・分析して、前単元で作成した年表に追加して表す。	○市の様子移り変わりをまとめて、年表に表現し、わかったことを話し合う。 ◆市の様子は、時期によって移り変わってきたこと。	①これまでに作成した絵カードを、前単元でまとめた年表に追加する。 ②年表を見て、交通、土地利用、人口、公共施設それぞれの移り変わりについて、わかることを話し合う。 ③移り変わりの節目となる年代を捉える。	【思判表】交通、土地利用、人口、公共施設の変化について年表にまとめ、その移り変わりを表現している。(ノ) 【態】交通、土地利用、人口、公共施設の移り変わりについての追究をふり返り、これからの学習に生かそうとしている。(発)(ノ)
〈つなげる〉 年表を見て話し合おう P156～157 【配時 1】	完成した年表をもとに市の移り変わりについて話し合い、市の目標や計画をもとに、これからの発展について意識をもつ。	○学習したことをもとに市の移り変わりを表現し、市の総合計画などを調べ、市の今後について考えて発表する。 ◆市はこれからの発展を考えて、目標や計画を立てていること。	①市の移り変わりについて、交通、土地利用、人口、公共施設の相互の関わりを踏まえて話し合う。 ②市の総合計画などをもとに、今後の目標や計画について調べる。 ③これまでの学習に基づいて、これからの市の発展について、自分なりの考えを発表する。	【思判表】市の目標や計画をもとに、これからの市の発展について考え、表現している。(発)(ノ) 【態】これまでの学習に基づいて、これからの市の発展について考え、選択・判断して表現しようとしている。(発)(ノ)